

本時のねらい 職業ビンゴをすることを通して、英語での職業の名前の言い方に慣れ親しむ。

本時の展開 ( 1 / 4 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
<p>導入</p> <p>課題</p> <p>展開</p> <p>評価</p>	<p>1 Warm-up あいさつと歌 “ When I grow up ” ( P . 57 Let’s Chant )</p> <p>2 ALT’s Time 職業あてゲーム ( P . 56 Let’s Listen ) ( 英語ノート2 P.62,63 )</p> <p>3 Activity ( 評価の観点ウ )</p> <p>職業チャンツをする。( 英語ノート2 CD75 )</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>“ teacher ” “ doctor ” “ singer ” “ farmer ” “ engineer ”</p> <p>“ racing driver ” “ fire fighter ” “ police officer ”</p> <p>“ tennis player ” “ baseball player ” “ soccer player ”</p> <p>“ scientist ”</p> <p>“ cook ” “ astronaut ” “ nurse ” “ pilot ”</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>“ photographer ” “ baker ” “ lawyer ”</p> <p>“ dancer ” “ zookeeper ” “ carpenter ”</p> <p>“ actor/actress ” “ fashion designer ”</p> <p>“ nursery school teacher ”</p> <p>“ computer programmer ”</p> <p>“ sumo wrestler ”</p> <p>“ florist ” “ dentist ” “ cartoonist ” “ artist ”</p> <p>“ cabin attendant ” “ comedian ” “ vet ”</p> <p>“ fisherman ” “ sushi chef ”</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>職業ビンゴを楽しんで職業の言い方にたくさんふれよう。</p> </div> <p>職業ビンゴをする。( 評価の観点イ )</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>( 事前準備 英語ノート2 P.79 の職業カードを切り取る。 )</p> <p>英語ノート2 P.57 のシートの上にランダムにカードを並べる。</p> <p>全員で “ What do you want to be? ” と聞き、ALT ( HRT ) が “ I want to be a . ” と答える。</p> <p>クラス全員が職業の部分を繰り返して言う。</p> <p>言われたカードを裏返していき、ラインをそろえることができればビンゴとなる。</p> </div> <p>4 Evaluation</p> <p>( 1 ) 自己評価</p> <p>「初めて聞いた英語が多かったけど、いろいろな職業の言い方が分かってよかった。」</p> <p>「職業の言い方をたくさん覚えて、楽しくカルタができたのでよかった。」</p> <p>( 2 ) 相互評価</p> <p>「 さんの職業を言う声が毎回よく聞こえてきました。」</p> <p>( 3 ) 教師による本時の評価と、本単元の流れを聞く。</p> <p>「今日はたくさんの職業の言い方にふれられたね。ドクターやパイロットのように日本語でそのまま使われているものもあるね。また、英語でも日本語の 士、 選手のようにグループがあるんだね。</p> <p>「 月 日 ( 第4時 ) には、自分のなりたい職業とその理由についてのスピーチをするのでどんな職業に就きたいのか考えておいてね。理由も考えていこうね。」</p>	<p>ア コミュニケーションに対する関心・意欲・態度</p> <p>英語で職業の名前を言おうとしている。( 観察 )</p> <p>ウ 言語や文化に関する気付き</p> <p>職業を表す表現を聞いて、日本語と英語の音の違いに気付く。( 観察 )</p> <p style="text-align: center;">各過程における配慮事項</p> <p>【学習活動2】について</p> <p>ここで使用するCD76・77では、“doctor” “cook” “tennis player” “racing driver” “teacher” が紹介されている。子どもにとって馴染みのある語彙ではあるが、理解できない子もいる。正解、不正解にこだわらず、絵を伴って示すことで音に慣れ親しませることで次の活動である職業チャンツにつなげていく。</p> <p>【学習活動3】について</p> <p>職業の英語での言い方に慣れるために職業チャンツを行う。職業絵カードを用意し、1枚ずつ導入を図る。その際、単語の語尾に着目し、種類ごと( ~ )に導入する。または、ランダムに導入した後に、仲間分けをする活動を行ってもよい。そうすることで、英語での職業の言い方の特徴に自然と気付き、興味をもつことができる。また、日本語での言い方の特徴( 士、 師、 官、 者、 選手 など)や外来語として日本でそのまま使われているものについて補足説明することで、より言葉の面白さに触れることができると考える。</p> <p>英語ノートにある職業カードを切り離し、職業ビンゴをする。語彙数が多いため、導入の段階に時間がかかることが予想される。また、この段階で子どもが口に出して英語を言うことは困難だと考え、聞くことに慣れるためにこの活動を設定した。揃えたとよいライン数を変えることで実態に合わせることや時間の調整ができる。</p> <p>【学習活動4】について</p> <p>たくさんの職業の言い方に触れられたことと、英語にも言い方にグループがあることを知ったことを価値付けるようにする。</p> <p>中学校へつなげるポイント</p> <p>本時導入する英語での職業の言い方は数が多く、とまどう子もいる。仲間分けをして導入したり、チャンツやビンゴで十分に慣れたりする時間を確保したい。そうして多くの語彙に触れることは、言葉に興味をもつことにつながり今後の学習の意欲になっていく。</p>